

# 令和8年 第1回定例会（3月）代表・一般質問通告表

<一覧>

月日	順番	区分	会派名	質問者名	質問事項
三月四日（水）	1	代表質問	日本共産党 南アルプス市議団	河阪 悠	①国民健康保険について ②介護福祉について ③子育て支援について
	2		新政南アルプス	村松三千雄	①行政改革のさらなる推進による持続可能なまちづくりについて
	3		躍進会	吉松大樹	①未来を担うひとづくりと、教育・研究機関誘致を見据えた成長戦略について ②ひとつの市としての南アルプス市確立に向けた公共施設再配置について
	4		公明党	齊藤博明	①生活保護制度の適正な運用と、市民に対する規律ある対応について
	5		かがやき21	小林敏徳	①白根インターチェンジ周辺について ②f u m o t t o南アルプス地域交流エリアについて ③道の駅構想について
	6		未来創政の会	矢崎俊秀	①インクルーシブ教育について ②甲西利便施設の用途廃止について ③新産業拠点整備事業における誘客実態と評価について
三月五日（木）	7	一般質問	日本共産党 南アルプス市議団	松野昇平	①公共施設再配置について ②部活動の地域移行(地域展開)について ③市役所の開庁時間の短縮について
	8		新政南アルプス	飯野 久	①ユネスコエコパークについて ②農地回復について
	9			花輪幸長	①地域計画について
	10			清水麻里	①南アルプス市介護支援ボランティア・ポイント制度の現状と拡充について ②こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）について
	11			藤田亜由未	①将来のまちづくりを支える移動環境のあり方について
	12		躍進会	保坂広人	①南アルプスIC周辺中央エリアの事業について ②東部・西部エリアの進捗と今後の展望について
	13			相川宗仁	①米の地産地消の推進について ②米の地域内流通の推進について
	14			飯久保貴	①本市の高齢者福祉施策について ②インセンティブ交付金について
15	公明党	河野木綿子	①おむつ交換台や授乳室等の環境整備について ②児童館へのランドセル来館事業について		

令和8年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>河阪 悠</p>	<p>1. 国民健康保険について</p>	<p>(1) 本市の国民健康保険加入世帯の平均所得および国保税負担率はどのような水準にあるか。また協会けんぽ加入世帯との実質負担比較を市はどのように分析しているか。</p> <p>(2) 一般会計からの法定外繰入の拡充や基金の活用等により国民健康保険税を引き下げることが可能と考えるが、市としての財政的検討状況と今後の方針を伺う。</p> <p>(3) 均等割の更なる軽減、子どもに係る均等割の独自減免など、子育て世帯および低所得世帯に対する本市独自の追加的軽減策を講じる考えはないか。</p>

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>河阪 悠</p>	<p>2. 介護福祉について</p>	<p>(1) 本市において更新認定等の結果、「要介護」から「要支援」へ区分変更となった件数の推移はどうなっているか。また、その変更により利用できるサービス量や自己負担にどのような影響が生じていると認識しているか。</p> <p>(2) 要介護から要支援へと軽度化認定する場合、本人および家族の生活実態や介護負担の実情に十分配慮した慎重な審査体制が確保されているか。主治医意見書や訪問調査の内容が十分反映される仕組みになっているか、市の所見を伺う。</p> <p>(3) 本市における高齢化の進展および相談内容の複雑化により地域包括支援センターの役割はますます重要となっている。高齢者がより身近な場所で早期に相談できる体制を整備するため地域包括支援センターの増設を具体的に検討する考えはないか、市の所見を伺う。</p> <p>(4) 臨時会で成立した支援金は評価できるが、依然として介護基本報酬が低い水準であり、物価・人件費の上昇が追い打ちをかけている。国に対する基本報酬引き上げの要望のほか、市として独自に講じ得る支援策を具体的に検討する考えはないか、市の所見を伺う。</p>

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>河阪 悠</p>	<p>3. 子育て支援について</p>	<p>(1) 学校給食費の国負担化により、本市一般財源においてどの程度の財政的余力が生じる見込みか。その財源について、市としてどのような基本方針で活用する考えか。</p> <p>(2) 浮いた財源を活用し、副食費の無償化、修学旅行費の補助拡充、教材費や校外活動費への支援など保護者負担の実質的軽減につながる施策を検討する考えはあるか。具体的な制度設計の可能性について市の所見を伺う。</p> <p>(3) 昨年から学童の土曜日開所が実現したことは評価できるが、長期休み中の開所時間の繰り上げを求める市民の声がある。市の所見を伺う。</p>

令和8年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	新政南アルプス  村松三千雄	1. 行政改革のさらなる推進による持続可能なまちづくりについて	<p>本市は、平成17年3月に「第1次南アルプス市行政改革大綱」を皮切りに、これまで第4次（令和3年度から）と大綱を改定・継続し、各種施策を展開しながら、財政健全化を図っている。</p> <p>金丸市長は、令和7年第1回定例会で、「令和7年度に、第5次行政改革大綱の策定及び公共施設アクションプランの改定を予定しております。合併から20年以上が過ぎ、本市も「一つの市」として成熟すべき時期を迎えております。目まぐるしく変わる時代の変化や、真に必要な市民ニーズに対応するため、限りある人材・財源の再配分は必要不可欠であります。また、持続可能な市政運営の観点から、旧町村から引き継がれている数多くの公共施設のあり方について、改めて「一つの市」としてあるべき姿を皆さまで考える契機にしていきたいと思います。」と、所信を述べている。</p> <p>また、令和7年度からは「第3次総合計画」がスタートし、これに即した「第5次行政改革大綱」を作成している。</p> <p>これらを踏まえて、合併後20年以上が経過し、今後、人口減少や財政負担の増大が予想される中で、「次世代につなぐ」まちづくりを、行政改革により、どのように実現するのか、問う。</p> <p>(1) 令和3年度から7年度間で実施した、「第4次行政改革大綱及び実施計画」における成果及び課題について、どのように捉えているか。</p>

令和8年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
2	新政南アルプス  村松三千雄		<p>(2) 「第4次行政改革大綱」の検証・課題を踏まえた「第5次行政改革大綱」の方針は、どのように示しているか。</p> <p>(3) 令和8年度からは、「第5次行政改革大綱」に基づき、新たな取り組みが始まる。人口減少や財源負担増大といった将来の複雑な課題に対応するためには、従来の枠組みに縛られない行政改革や柔軟な組織の再構築が必要である。これに対し、市はどのように考えているか。</p> <p>(4) 金丸市政3期目の最終年度において、市長は行政改革大綱を実行するにあたり、どこを重点に置き、どのような姿勢で臨むのか。</p>

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
3	<p>躍進会 吉松 大樹</p>	<p>1. 未来を担うひとりづくりと、教育・研究機関誘致を見据えた成長戦略について</p>	<p>少子化が加速するなか、本市の産業を持続的に発展させるためには、行政が従来の枠組みを超えて、教育と産業の接続に介入し、戦略的に人材を育成・確保していく必要があると考えるが、市の認識を伺う。</p>
		<p>2. ひとつの市としての南アルプス市確立に向けた公共施設再配置について</p>	<p>新たに策定される公共施設再配置アクションプランについて、これまでの取り組みへの評価と、新計画における具体的な展開スケジュールを伺う。</p>

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	<p>公明党 齊藤 博明</p>	<p>1. 生活保護制度の適正な運用と、市民に対する規律ある対応について</p>	<p>群馬県桐生市では、相談段階での不適切な対応が原因となり、市民の生命が失われるという痛ましい事件が発生した。この事件は、制度の理念と現場運用の乖離が、重大な結果を招くことを示した象徴的な事例であった。</p> <p>(1) 申請者の保障と、相談者の尊厳を守る対応が不可欠である。生活保護の相談・申請段階における対応について、本市では相談者の申請権を侵害しないために、どのような運用ルールを定め、どのように遵守状況を確認しているか。</p> <p>(2) 制度の理念を理解し、適切に運用できる人員体制の構築が不可欠である。人事異動に伴い、すべての職員がケースワーカーとして職務に就く可能性を鑑み、配置に際し考慮している点はあるか。</p> <p>(3) 生活保護は最後のセーフティネットである。相談者の背景を総合的に把握し、切れ目のない支援が必要である。生活困窮者自立支援制度や医療・福祉・就労支援など他制度との連携が不可欠となっている。本市では、関係機関との情報共有や協議体の運用をどのように行っているか。</p>

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
4	公明党 齊藤 博明		<p>(4) 生活保護利用者が直面する大きな壁の一つが「住まい」である。住まいの確保は生命の安全に直結していることである。生活保護の開始・継続において極めて重要なポイントである。本市では、住宅確保配慮者に対し、どのような支援策を講じているか。</p> <p>(5) 情報へのアクセスは、命を守る基盤である。市民が制度にアクセスしやすい環境づくりこそ重要である。本市の生活保護制度に関する情報提供の現状と課題をどう認識しているか。</p> <p>(6) 最後に、市としての姿勢を伺う。桐生事件の教訓を踏まえ、本市が生活保護制度を「規律ある制度」として市民に提供するために、今後、取り組むべき改善方針を具体的に示されたい。</p>

令和8年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
5	かがやき21 小林 敏徳	1. 白根インターチェンジ周辺について	これまでの議会で白根インターチェンジ周辺の質問をしてきた。白根インターチェンジ周辺の開発について、どのように考えているか。
		2. fumotto南アルプス地域交流エリアについて	(1) 募集要項の中で、開業から1年目は地代を免除いたします。としていた。免除した金額はいくらになるか。
			(2) 募集要項に借地期間開始後2年目以降の1年間は、賃借料の80%を軽減します。とあるが、軽減した80%の金額はいくらか。また20%の金額はいくらか。
			(3) 3年目の今年は、ヒカレヤマナシからいくらの地代が本市に入るのか。この金額は契約年数ずっと本市に入るのか。途中で撤退した場合はどのようになるのか。
3. 道の駅構想について	fumotto南アルプスに道の駅を設置する予定であるが、その計画に無理はないか。		

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	未来創政の会  矢崎 俊秀	1. インクルーシブ 教育について	<p>(1) 教育委員会として、コロナ禍という特別な環境を経験した世代の状況をどのように認識し、その背景を踏まえて、特別支援学級および通級指導教室を含む特別支援教育の制度運用について、どのような基本的認識のもとに運用しているか。</p> <p>(2) 通常学級へ戻るための評価基準は文書として整理され、学校現場で共有されているか。また、その判断は校長なのか、教育委員会なのか、あるいは就学支援委員会等なのか。制度として誰が最終的な責任主体となって行っているか。</p> <p>(3) 制度として通常学級への復帰状況や配置の在り方を検証する指標として整理・分析されているか。あるいは個別判断の積み重ねにとどまっているか。特別支援学級および通級指導教室を一時的・可逆的な支援の場と位置づけるのであれば、その実態が制度として検証されている必要があるが、教育委員会はどのように考えるか。</p>

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	未来創政の会  矢崎 俊秀	2. 甲西利便施設の 用途廃止について	<p>(1) 甲西利便施設は、行政が所有してから今日に至るまで、市民生活や地域振興に寄与してきた施設であるが、市として、その役割と意義をどのように評価しているか。</p> <p>(2) 甲西利便施設の用途廃止は、応急仮設住宅の配置や、さらには降雪対応を含めた地域防災力にどのような影響を及ぼすと認識しているか。</p> <p>(3) 甲西利便施設について、総合計画および国土強靱化地域計画との整合性を図る中で、平時利用と有事機能を統合する「防災公園」として明確に位置付け、行政財産として維持し活用していく考えはないか。</p>

代表質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
6	未来創政の会  矢崎 俊秀	3. 新産業拠点整備 事業における誘 客実態と評価に ついて	<p>(1) 現在コストコ及びヒカレヤマナシが運営する施設全体として、当初想定した200万人から300万人という見込みに対し、現時点でどのような評価をしているか。</p> <p>(2) 本事業では、コストコの誘客力を活用し、フモット南アルプス地域交流エリアや、市内商業とともに伊奈ヶ湖などへの周遊を促すことで、市全体に経済効果を波及させる構想が示されてきた。そこで現時点において、波及効果を市はどのように把握し評価しているか。</p>

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>松野 昇平</p>	<p>1. 公共施設再配置 について</p>	<p>公共施設再配置の議論は、単なる財政合理化ではなく、「南アルプス市はこれからどのような地方都市として歩いていくのか」という将来像そのものに関わる重要なテーマである。とりわけ中山間地域において公共施設は、教育や交流、生活を支える拠点であり、人口維持の基盤でもある。第2次南アルプス市公共施設再配置アクションプランにおいて、「守るべきもの」は何か、そして「再編すべきもの」は何か、どのような価値判断のもとで整理されたのか、市の所見を伺う。</p>
		<p>2. 部活動の地域移行(地域展開)について</p>	<p>本市では、国の方針を受け、これまで学校教育の一環として実施され、公費で支えられてきた部活動の地域移行（地域展開）を段階的に進めている。地域クラブ化により、運営主体や費用負担の在り方も変わることになり、教員の働き方改革や専門的指導の充実といった意義も示されている一方で、受益者負担による経済格差の拡大や、地域への負担の集中を懸念する声も見られる。そこで、本市として、部活動の地域移行（地域展開）をどのような理念と目的のもとに進めようとしているか。また、本市の規模や実情を踏まえた将来的な方向性について、市の所見を伺う。</p>

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
7	<p>日本共産党 南アルプス市議団</p> <p>松野 昇平</p>	<p>3. 市役所の開庁時間の短縮について</p>	<p>(1) 今年10月から施行実施される市役所開庁時間の短縮は、人的資源の制約からの現実的対応なのか、それとも住民サービスの質を維持・向上させる改革の一環として位置づけられているのか、本市の行政改革の全体像の中で、どのような戦略的位置づけにあるのか、市の所見を伺う。</p> <p>(2) 開庁時間の短縮は、行政効率の問題に見えるが、実際には地域福祉の安全網に直結する制度変更でもある。特に、現場で困難を抱える住民にしわ寄せがいかないよう安全策を講じる必要があると考えるが、市の所見は。</p>

令和8年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
8	新政南アルプス  飯野 久	1. ユネスコエコ パークについて	(1) ユネスコエコパークの理念と教育について 平成26年12月及び平成28年6月議会の一般質問において、理念と教育についてはE S D（持続可能な開発のための教育）及びユネスコスクールについて同等の価値観の共有を得たと認識している。一方でユネスコスクール全校加盟の提案について検討するとの答弁であったがその後の進捗状況について伺う。  (2) ユネスコエコパークの理念と農業について 南アルプス市におけるユネスコエコパークの範囲は市内全域にある。特にユネスコエコパークの理念上の共生において移行地域は農業を中心とする地域が多くを占めその自然との関係性も重要視されるべきと考える。そこで、ユネスコエコパークの理念と農業との関係性の認識について伺う。
		2. 農地回復について	令和7年12月議会で農業振興について質問したが、より深い認識の共有を図りたいと思い、そのうちの農地回復について必要の可否等、再度基本的考えを伺う。

令和8年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
9	新政南アルプス  花輪 幸長	1. 地域計画について	<p>「人・農地プラン」から地域農業を住民全員で共有することを目的とした、より強力な新制度「地域計画」に移行され、令和7年3月末に地域計画が作成されている。目標の10年後の将来計画に対して下記の主要課題点について市の考えを伺う。</p> <p>(1) 協議の実施内容について 各地区で、農業者や地主、関係機関が集まり開催されたとあるが参加関係機関名および参加者数を伺う。</p> <p>(2) 担い手の確保について 本市の就農者支援制度は大変優れている。これらと併せて、大規模・高齢農家より小規模面積を借り受け、栽培指導も仰ぎながら新たな担い手として活動する等の制度創設も有効と思うが、市の考えを伺う。</p>

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	新政南アルプス  清水 麻里	1. 南アルプス市介護支援ボランティア・ポイント制度の現状と拡充について	<p>(1) 本市の介護支援ボランティア・ポイント制度は、市内高齢者の社会参加及び地域貢献の奨励、高齢者自らの介護予防、元気な高齢者が暮らす地域を作ることなどを目的に実施されている事業である。超高齢化に突入した今日、一人一人の高齢者が生きがいや楽しみ、地域との関わりを持ちながら暮らすことは健康寿命を延ばす上でも非常に重要だと考える。そのためのかきかけづくりとしてもこの事業の持つ役割は大きい。本事業の現状について伺う。</p> <p>(2) 本事業は、国の補助金を活用した高齢者向けの制度であるが、年齢に限らずボランティアに参加することは大変意義があると思う。市の総合計画の政策1「多様なみんながつながる、安全・安心のまち」の実現や、政策2「ともに生き支え合おう、健康と幸せのまち」の実現にもつながる事業だと言えるので、子ども若者もこの事業に参加できるよう制度の拡充を行うべきだと思うが、市の考えを伺う。</p>

令和8年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
10	新政南アルプス  清水 麻里	2. こども誰でも通園制度（乳児等通園支援事業）について	<p>(1) 全ての子どもの育ちを応援するとともに、子育て家庭への支援を強化するために創設され、令和8年4月から子ども・子育て支援法に基づく新たな給付として、全国の自治体でこども誰でも通園制度が実施される。 この事業について市はどのように認識し、展開していくか伺う。</p> <p>(2) 命を預かる保育現場において、安全対策は非常に重要である。本事業が開始されることに伴い、安全対策や保育士の負担についてどのように考えているか伺う。</p>

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1 1	新政南アルプス  藤田亜由未	1. 将来のまちづくりを支える移動環境のあり方について	<p>(1) 本市は、山梨県内で唯一、鉄道駅を有していない市であり、移動環境の確保は重要な課題である。この特性は、こども若者の機会確保、観光振興、広域アクセスにも影響していると考ええる。今後、仮称「道の駅 f u m o t t o 南アルプス」の整備も見据え、本市の移動環境の現状認識と交通の位置づけについて、市の見解を伺う。</p> <p>(2) 本市では、第3次南アルプス市総合計画において、若い世代の幸福度向上に取り組むことが示されている。若者が進学や就業、体験活動を通じて将来の選択肢を広げていくことは重要であると考えるが、一方で、移動手段の制約により、体験機会や進路選択に影響が生じている可能性があるとの市民の声もある。若者が自ら移動し、学びや経験の機会を得られる環境は、将来の地域定着にもつながる重要な基盤であると考えるが、本市における若者世代の移動環境の現状認識と、今後「移動の自立」を支える交通施策について、市の見解を伺う。</p> <p>(3) 本市においては、魅力ある観光資源を有している一方で、公共交通によるアクセスや観光拠点間の周遊性には課題があると考ええる。観光振興を進める上では、訪れやすさや移動しやすさといった環境整備も重要である。観光と交通を一体的に捉え、移動手段の充実を図っていくことが、観光消費の拡大や滞在時間の向上にもつながると考えるが、観光推進における交通の役割と、今後の取り組みについて、市の見解を伺う。</p>

令和8年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
1 1	新政南アルプス  藤田亜由未		(4) 本市が将来にわたり持続的に発展していくためには、市内にとどまらず、市外・県外との人や産業、観光のつながりを支える移動環境の整備が、まちづくりの重要な基盤になると考える。進学や就業、観光、産業振興など、様々な分野に共通して関わる交通については、今後、分野横断的な視点で交通を捉えていくことが重要になっていくと考えるが、将来のまちづくりを見据え、交通をまちづくりを支える基盤としてどのように推進していくべきと考えているか、市の見解を伺う。

令和8年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
12	躍進会 保坂 広人	1. 南アルプス I C 周辺中央エリア の事業について	馬蹄形の中央エリアは、公募ができる まで事業化を進めることができた。そこ で開業に向けての今後の取り組みについ て伺う。
		2. 東部・西部エリ アの進捗と今後 の展望について	中央エリアの事業化が進む一方で、南 アルプス I C 周辺の約50 h a に及ぶ東 部・西部エリアも、本市の将来を左右す る重要なエリアであると考えます。東部・ 西部エリアの開発に関する進捗状況と展 望について、更には高度活用推進計画に おいての重要な取り組みとして位置づけ られている、市民や地域とともに進める まちづくりへの取り組みについて伺う。

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
13	躍進会 相川 宗仁	1. 米の地産地消の 推進について	<p>近年、あらゆる物価が高騰し、なかでも主食である米価は2022年からじわじわ上昇し、2023～2024年にかけて上昇が顕在化し2026年にかけても高止まりが続いている。実質賃金（可処分所得）が伸びない中で、市民の家計への負担が増していることも事実である。一方で農業現場では資材等の高騰により、必ずしも農家の経営が安定しているとは言えない。</p> <p>こうした状況において、地域で生産された米を地域で消費する「地産地消」の推進は市民生活の安定と農業の持続性を同時に支える重要な施策であると考え</p> <p>る。</p> <p>米価は市場で形成されるものであり、当市が直接価格を下げる権限はない。そのため当市としては、生活支援や地産地消の推進などをつうじて市民と農業の双方を支える施策をどのように進めていくのか、市の見解を伺う。</p>
		2. 米の地域内流通 の推進について	<p>地域で生産された米を地域で消費することで、流通コストを抑え、価格と供給の安定につながる。市内の消費者にとっては、何とかしてもっと安く、米の生産者にとっては、安定した販路の確保で農家の経営を支えることのできる販売価格で、水田や農地の維持、遊休農地の発生防止にも寄与する。米の地域内流通の推進は、市民の生活を守り、農業を支え、災害にも対応でき、将来にわたって持続可能な南アルプス市を築くために必要不可欠な施策であると考え</p> <p>る。</p> <p>そこで、当市として米価高騰による影響を緩和し、食の安全を守る責任はあると考え</p> <p>るが見解を伺う。</p>

令和8年 南アルプス市議会 第1回定例会（3月）

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
14	躍進会 飯久保貴	1. 本市の高齢者福祉施策について	(1) 本市の直近5年間の高齢者人口の推移と全国平均との差異を伺う。
			(2) 本市の直近5年間の要支援1～2・要介護1～5の認定者数・認定率の推移と全国平均との差異を伺う。
			(3) 本市の高齢者福祉施策推進において今後の課題を伺う。
		2. インセンティブ交付金について	(1) 保険者機能強化推進交付金・努力支援交付金の評価結果について伺う。
			(2) 保険者機能強化推進交付金・努力支援交付金の内容について伺う。

一般質問通告表

質問 順位	質問者	質問事項	質問要旨
15	公明党 河野木綿子	1. おむつ交換台や授乳室等の環境整備について	<p>(1) おむつ交換台や授乳室等の環境整備は、子育てバリアフリーの観点から商業施設、公共施設、駅などで設置が推進されている。本市の公共施設における子育て環境整備の考えは。</p> <p>(2) 特に子育て世代が集まる公共施設の授乳室の設置おむつ交換場所の状況は。</p> <p>(3) 本市でおむつ交換場所や授乳室等の場所をお知らせする情報提供の状況は。</p> <p>(4) 誰もが安心して搾乳出来る環境整備のため、授乳室で搾乳が出来る事を示すシンボルマークがある。神奈川県では申請も必要なく、無償で自由に使えるシンボルマークを提供している。設置の考えは。</p>
		2. 児童館へのランドセル来館事業について	<p>保護者が就労等で日中不在となる家庭等を対象に、小学校から直接児童館に來所し、時間まで過ごす事が出来る事業だが、本市は事業化をしていない。必要性についての所見は。</p>